

追加型投信／内外／その他資産(商品先物)／インデックス型
 信託期間：平成21年4月23日 から 平成31年4月25日 まで 基準日：2015年7月31日
 決算日：毎年4月25日および10月25日(休業日の場合翌営業日) 回次コード：4755
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

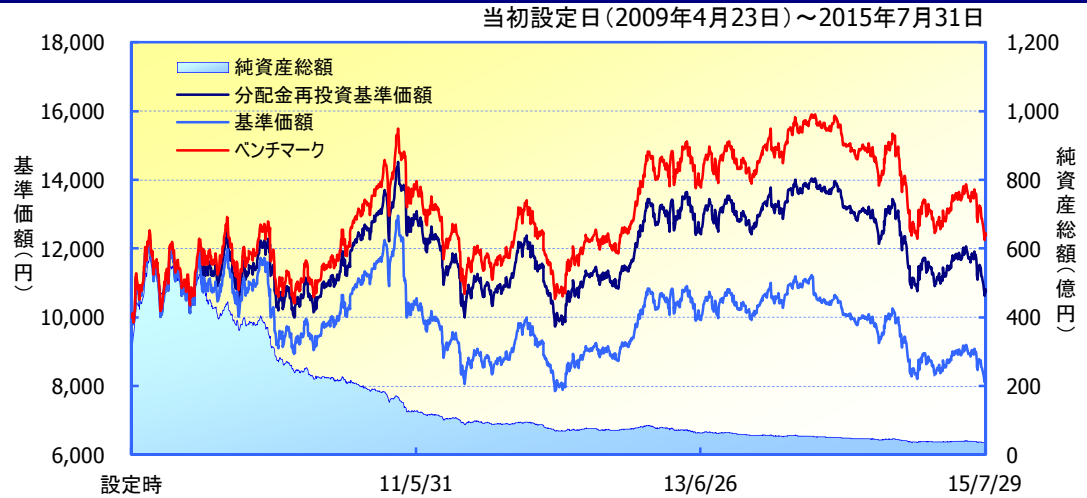
＜基準価額・純資産の推移＞

2015年7月31日現在

基準価額	8,214 円
純資産総額	35億円

期間別騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1カ月間	-7.9 %	-7.9 %
3カ月間	-7.2 %	-6.9 %
6カ月間	-0.0 %	+0.9 %
1年間	-18.7 %	-17.7 %
3年間	-0.8 %	+5.0 %
5年間	+0.8 %	+11.2 %
年初来	-10.9 %	-10.1 %
設定来	+7.7 %	+24.0 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※当ファンドはロジャーズ国際コモディティ指数®(円換算)をベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。
 ※ロジャーズ国際コモディティ指数®(円換算)は、同指数(米ドル建て)を円換算し、当ファンド設定時を10,000として大和投資信託が計算したものです。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

＜分配の推移＞

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (09/10)	500円
第2期 (10/04)	800円
第3期 (10/10)	0円
第4期 (11/04)	1,200円
第5期 (11/10)	0円
第6期 (12/04)	0円
第7期 (12/10)	0円
第8期 (13/04)	100円
第9期 (13/10)	0円
第10期 (14/04)	500円
第11期 (14/10)	0円
第12期 (15/04)	0円

分配金合計額 設定来: 3,100円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

＜主要な資産の状況＞

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位ファンド		合計99.6%
運用会社名	ファンド名	比率
ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド	「“RICI”」ファンド クラスA	99.1%
大和証券投資信託委託	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0.4%

通貨別構成		合計100.0%
通貨	比率	
米ドル	99.1%	
日本円	0.9%	

＜組入ファンドの資産の状況＞

※比率は、各組入ファンドの純資産総額に対するものです。

「“RICI”」ファンド クラスAの資産構成	
資産	比率
先物証拠金その他	30.1%
外国公社債	69.9%
合計	100.0%
商品先物	100.0%
先物合計	100.0%

純資産総額(100万米ドル) 44

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの資産構成	
資産	比率
国内債券	90.8%
コール・ローン、その他	9.2%
合計	100.0%

※「“RICI”」ファンド クラスAの資産構成は、基準価額への反映を考慮して、原則として月末から1営業日前の市場に基づくデータを使用しています。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

販売会社:

大和証券
Daikwa Securities

商号等 大和証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
 加入協会 日本証券業協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daikwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

2015年7月末の基準価額 8,214 円
 2015年6月末の基準価額 8,919 円

変動額 ▲705 円

内訳	価格要因	為替要因	合計
「RICI [®] 」ファンド クラスA]要因	▲812 円	113 円	▲699 円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド要因	0 円	---	0 円
小計	▲812 円	113 円	▲699 円
分配金			0 円
信託報酬、その他			▲6 円

※「基準価額の月次変動要因分解」は、簡便法に基づく概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、その他には、設定・解約の影響、複合要因などが含まれます。表示桁未満の四捨五入等の関係で各欄の数値の合計が変動額の数値と合わないことがあります。

《運用概況》

「RICI[®]」ファンド クラスA] (米ドル建て)
 2009年4月27日～2015年7月31日



※過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※「RICI[®]」ファンド クラスA] 価格(米ドル建て)とRICI[®] はダイワ/ロジャーズ国際コモディティ™・ファンドへの組み入れが反映された2009年4月27日を100として指数化したものです。

※「RICI[®]」ファンド クラスA] 価格(米ドル建て)は、計上ベースで2009年4月27日より表示しています。

※「RICI[®]」ファンド クラスA] 価格(米ドル建て)とRICI[®] はそれぞれ算出されない日があります。

《RICI[®] 構成比率と月間騰落率》

(6月29日～7月30日終値ベース)

エネルギー	構成銘柄	構成比率	月間騰落率
40.00%	原油 (WTI)	16.00%	-17.31%
	原油 (北海ブレント)	13.00%	-14.84%
	天然ガス	5.00%	-1.81%
	無鉛ガソリン (RBOB)	3.00%	-9.63%
	ヒーティング・オイル	1.80%	-13.50%
	ガス・オイル	1.20%	-12.83%

産業金属	構成銘柄	構成比率	月間騰落率
14.00%	アルミニウム	4.00%	-3.91%
	銅	4.00%	-9.22%
	鉛	2.00%	-4.10%
	亜鉛	2.00%	-3.54%
	ニッケル	1.00%	-6.95%
	スズ	1.00%	12.69%

貴金属	構成銘柄	構成比率	月間騰落率
11.10%	金	5.00%	-7.84%
	銀	4.00%	-6.37%
	プラチナ	1.80%	-8.54%
	パラジウム	0.30%	-6.89%

家畜	構成銘柄	構成比率	月間騰落率
3.00%	生牛	2.00%	-3.84%
	豚赤身肉	1.00%	1.62%

穀物	構成銘柄	構成比率	月間騰落率
20.00%	小麦 (シカゴ上場)	4.75%	-14.91%
	トウモロコシ	4.75%	-4.78%
	大豆	3.50%	-3.06%
	大豆油	2.00%	-8.05%
	小麦 (カンザス上場)	1.00%	-15.56%
	欧州小麦	1.00%	-8.56%
	大豆粕	0.75%	0.37%
	欧州菜種	1.00%	-3.79%
	米	0.75%	13.39%
	オーツ麦	0.50%	-8.47%

ソフト	構成銘柄	構成比率	月間騰落率
9.90%	綿花	4.20%	-5.47%
	砂糖 (ICE上場)	1.00%	-6.63%
	砂糖 (NYSE Liffe上場)	1.00%	-1.15%
	コーヒー	2.00%	-8.04%
	ココア	1.00%	-1.83%
	オレンジジュース	0.60%	1.53%
	牛乳	0.10%	0.49%

その他	構成銘柄	構成比率	月間騰落率
2.00%	ゴム	1.00%	-8.74%
	板材	1.00%	-13.23%

※上記は当該期間中の主なRICI[®]の構成銘柄、構成比率を示したもので、当ファンドおよび「RICI[®]」ファンド クラスA]における実際の商品先物取引の構成が上記と一致することを保証するものではありません。また、RICI[®]の構成については、随時、銘柄の入替え、構成比率の見直しが行われます。

※月間騰落率は、主として当月のRICI[®]に使用される限月の終値を用いて計算しています。計算に用いた限月は、「RICI[®]」ファンド クラスA]に実際に組み入れているものと必ずしも一致しません。

＜商品市況＞

コモディティは、エネルギーセクターを中心に全てのセクターが下落しました。米国景気の改善を受けて年内利上げ観測が強まり米ドルが上昇したことから、代替投資先としてのコモディティの投資需要が減退しました。エネルギーおよび産業金属セクターは、中国経済の悪化懸念が強まったことを背景に下落しました。また、イラン産原油の輸出増加観測を受けて世界的な供給過剰が長引くとの懸念もエネルギー価格を押し下げる要因となりました。農産物は、米国産地での作物の生育に適した天候や豊富な供給を背景に下落しました。

エネルギーセクター：

原油（WTI）は、米国の石油リグ（掘削装置）稼働数が今年初めて増加したことが示されたことや、米国の原油在庫の増加を受けて世界的な供給超過が長期化すると懸念が強まり下落して始まりました。中国株式市場の急落やギリシャ情勢の混乱も価格を押し下げました。月半ば以降も、米国の原油在庫の積み上がりやイラン産原油の輸出増加見通しを背景に1バレル50米ドルを下回る水準まで下落しました。月末にかけては、米国株式市場の上昇や米国原油生産の減少を受けてわずかながら下げ幅を縮小しました。

天然ガスは、穏やかな天候予報を受けて大きく下落する場面もありましたが、中旬以降は平年を上回る気温が予想され冷房需要が増加すると観測から値を戻しました。

金属セクター（産業金属、貴金属）：

金は、月を通して下落基調で推移しました。ギリシャ情勢の混乱にもかかわらず、米国景気の改善を受けて米国の利上げ観測が強まり米ドルが上昇したことから、代替資産としての貴金属の需要が減退しました。その後も、ギリシャ債務問題に進展が見られたことを受けて安全資産としての需要が減退し、金は続落しました。月末にかけては、4-6月期の米国経済の成長ペースが加速したことから米国の利上げが近づきつつあるとの見方が広がり下落しました。

銅は、中国株式市場の急落やギリシャのユーロ圏離脱への懸念を背景に大きく下落しました。その後も、銅在庫が今年に入ってからおよそ2倍にまで増加したことを受けて供給過剰が意識されたことや、中国景気悪化への懸念が強まったことを受けて軟調に推移しました。月末にかけては、中国政府が株式市場に対して追加支援を行うことを示唆したことを好感して小幅ながら下げ幅を縮小しました。

農産物セクター（穀物、ソフト、家畜、その他）：

シカゴ小麦は、米国産地の雨量の多い天候を受けて作柄への悪影響が懸念され、6月末にかけては上昇しました。しかしその後、米国農務省の統計で米国小麦の在庫が上方修正されたことや、産地の天候が改善に向かいつつあったことから7月上旬より下落基調で推移しました。また、収穫が進んでいることや米ドルの上昇も価格を押し下げる要因となりました。トウモロコシは、米国産に対する堅調な需要や米中西部の雨量の多い天候により、月前半は堅調に推移しました。しかし月半ば以降は、米国産地の天候が徐々に改善に向かったことから反落しました。大豆も同様に米国産地の天候改善が相場の重しとなりました。

※国際商品市況は景気動向や在庫状況、米ドル相場、投機筋による建て玉動向などに左右され、一般的に景気拡大や在庫の減少、米ドル安は相場の上昇要因となる傾向があります。米ドル安が相場の上昇要因となる理由は、商品価格がおおむね米ドル建てで表示されるため、非米ドル圏から見た商品価格の割安感が強まるためです。

《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

月間を通じて「RICI[®]」ファンド クラスA」の組入比率を高位に維持しました。今後の運用につきましても、引き続き「RICI[®]」ファンド クラスA」の高位組み入れを保つ方針です。

《ファンドの目的・特色》

ファンドの目的

- コモディティ（商品先物取引等）に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. コモディティ（商品先物取引等）に投資します。
 - ・世界中の経済活動に広く利用されているコモディティ（商品）の値動きを表すロジャーズ国際コモディティ指数®（「RICI®」）の動き（円換算）に概ね連動する投資成果をめざして運用を行ないます。
2. 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
 - ・投資対象ファンド
 - ① ケイマン籍の外国証券投資法人「「RICI®」 Commodity Fund Ltd.」が発行する「「RICI®」 class A」（「「RICI®」 ファンド クラス A」）の投資証券（米ドル建）
 - ② 国内籍の証券投資信託「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券（円建）

「ダイワ/ロジャーズ国際コモディティ・ファンド」およびその関連ファンドであるケイマン籍の外国証券投資法人「「RICI®」 Commodity Fund Ltd.」（そのサブファンドである「「RICI®」 class A」を含みます。）（以下、当注記において、総称して「ファンド」といいます。）は James Beeland Rogers、Jim Rogers®または Beeland Interests, Inc.（以下、当注記において、総称して「Beeland」といいます。）により提供、保証、販売または販売促進されるものではありません。Beeland はファンド購入者、すべての潜在的ファンド購入者、政府当局、または公衆に対して、一般的な証券投資、特にファンドへの投資の助言能力を、明示的にも暗示的にも、表明または保証するものではありません。Beeland は Rogers International Commodity Index® の決定、構成、算出において大和証券投資信託委託株式会社およびその関連会社、またはファンド購入者の要求を考慮する義務を負いません。Beeland はファンドが発行される時期、価格もしくは数量の決定またはファンドが換金されるもしくは他の金融商品、証券に転換される際に使用される算式の決定または計算の責任を負わず関与もしていません。Beeland はファンドの管理、運営、販売、取引に関して義務または責任を負いません。「Jim Rogers®」、「Rogers International Commodity Index®」、「Rogers International Commodity™」および「RICI®」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers®または Beeland Interests, Inc. のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。**したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「商品先物取引による運用に伴うリスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

《ファンドの費用》

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.24% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.1124% (税抜 1.03%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.7925%	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用 の概算値	年率 1.9049% (税込) 程度 （純資産総額によっては上回る場合があります。）	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

◀ 当資料のお取り扱いにおけるご注意 ▶

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和投資信託** フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

当社ホームページ

▶ <http://www.daiwa-am.co.jp/>